

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		090301 「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動事業		担当部課	部課コード	090300	2998-9370	
事業コード		090301		生活環境課				
開始年度		57	年度	終了年度	年度			
グループ		環境庶務グループ						
事業の概要	事業の種類別	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		
	分野別計画・指針	所沢市環境基本計画						
	関連・類似事業	環境推進員連絡協議会補助金						
	根拠法令	「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動実施要領						
総合計画の体系	章	環境・自然	節	環境との共生	基本方針	環境施策への参加と協働の推進		
事業開始の背景	埼玉県が、昭和57年5月12日から6月11日までの1ヶ月間を「快適な環境づくり運動強化月間」と定め、さらに昭和58年度に環境庁・厚生省両省が環境週間の趣旨を踏まえ「環境美化運動の日」の設定を呼びかけたため。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	市民参加による環境美化を推進することにより、快適な生活環境の確保に寄与する。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	342,564	人		
	市民			平成 27 年度	343,067	人		
事業の具体的な内容及び実施方法	<p>1 自治連合会・環境推進員連絡協議会・市が協力して、年2回開催する。</p> <p>2 各自治会・町内会に実施日を通知するとともに、行政回覧・ポスターを配布し周知依頼をする。</p> <p>3 各まちづくりセンターにごみ袋を配布し、各町内会・自治会の環境推進員が必要枚数を取りに行く。</p> <p>4 市民は住まい周辺に散乱している燃やせるごみ、破碎ごみ、びん・かん等のごみを指定集積所に集める。</p> <p>5 市は指定集積所のごみを回収する。</p>							
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			747	958	1,271		
	決算(見込み含む)			631	902			
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)			
	正規職員人件費	1.74 人		15,175	1.67 人	14,462		
	事業費合計	15,806		15,364				
財源内訳	一般財源	15,806		15,364	1,271			
	国・県支出金							
	その他()							
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	「環境美化の日」ごみ回収実績	年間ごみ回収実績	t	74.67	68.98	75	
		「環境美化の日」参加人数	年間参加人数	人	49,906	51,051	50,000	
成果指標	環境美化活動における参加人数	年間参加人数(春・秋各1回)	人	目標値	89,919	90,654	92,735	
				実績	49,906	51,051	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図 <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	56	56	どちらかをチェックしてください	
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析			
	多くの市民が活動に参加しやすいように、指定集積所の位置の変更や増設に関する地域の要望に対応した。「ところざわホットメール」・所沢駅構内デジタル掲示板への情報掲載による活動のPRを行った。				目標としている市内世帯数の3割の参加者数に対して、徐々に参加者数が増加傾向にあるが、達成にはまだまだ開きがあるため引き続きPRに努めるとともに、新たなPR手段を模索していく必要がある。			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	より多くの市民の参加協力が得られるよう、周知方法や実施方法を検討していく必要がある。			
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	現業職員の減少等に伴い、美化の日に排出されるごみの収集業務体制を確保することが困難となってきたため、収集業務の委託化を検討する必要がある。			
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性			
	各地区の自治連合会、環境推進員協議会の重要な活動行事であり、快適な生活環境の確保とともに、市民の環境美化意識と協働意識の向上に役立っており、当該事業は継続することとする。				より多くの市民の協力が得られるよう、周知方法や実施方法を検討し、特に小・中学生の参加をより強力に推し進めて行く。また、現業職員の減少等に伴い、美化の日に排出されるごみの収集業務体制を確保することが困難となってきたため、収集業務の委託化を検討して行く。			
	評価日	H28.8.9	評価者職氏名	生活環境課長 岸 徳夫				
環境影響	有益な環境影響	5-1景観・美観の保全と形成	6-3参加と協働の推進	有害な環境影響を及ぼす原因活動	目的に反する家庭用・事業系ごみの搬出	規制を受ける環境法令等	無	
						緊急事態	無	